

(仮称) 小千谷市防災センター建設基本計画(案)に係るパブリックコメント(市民意見募集)の結果について

1. パブリックコメント実施状況

- (1) 意見募集期間：令和5年2月13日(月)～令和5年3月7日(火)
 (2) 意見数：44件(15人)

2. 意見の概要と意見に対する市の考え方

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え方	修正
1	1 ページ、2 ページ I-1 検討の経緯	新施設の中に防災体験や防災学習ができる施設も作るがあるが、現状そなえ館があるのにわざわざ機能を移す必要性はないのではないか。そのような施設が実際の災害に対してどの程度役に立つのかは不明。災害時、市は何をし、各町内会は何をし、町内会の自主防災会は何をしていかねばならないのかを具体的且つ能動的に活動させるような仕掛けが必要と考えるがどうか。体験学習するような空間を避難活動における必要な空間にするべきと思うがどう考えているのか明確にしてもらいたい。	新施設は、当市の防災拠点施設の一つであり、防災公園と一体となって防災力を高めるための施設にしたいと考えております。そのため、そなえ館についても防災拠点における重要な機能であるため、後世へ震災の経験を継承する観点から、一体的に整備したいと考えております。 災害時の役割について、市民はまず自らの安全を確保し、地域においては相互に助け合い、市は被災者の救済及び支援を迅速に行うと、「小千谷市地域防災計画」に定めております。 災害の種類や地域の特性により、市民にお伝えしなければならぬ事項は異なりますので、地区別防災訓練を通じて、周知してまいります。	無
2	3 ページ II-1 建設にあたっての基本方針	勤少ホーム、東小千谷体育センター、白寿荘の施設の機能を移転するとあるが、現状よりもかなり縮小されると聞いた。厨房や和室等は避難所としても活用が可能であり、現状規模をそのまま移管していただきたい。利用率が低い等のことで縮小する方向との話があったが、利用率については、利用者側が気にするものではなく、施設管理側が様々な仕掛けをしなければ利用率は上がらない。東小千谷の公民館活動は小千谷市全体を見ても大きなイベントを実施している状況であり、そのような実態を危機管理課の幹部は理解していないと思われることにつながりしている。	3施設の規模は、今後の人口減少や現在の利用実態から縮小せざるを得ませんが、大きな部屋を分割するなど多目的に利用できる方法により、極力、不便さを感じないよう配慮してまいります。 また、簡易畳によりフローリングと畳の使い分けができるような部屋を用意し、用途に応じて使用できるよう、利便性を高めてまいりたいと考えております。 なお、現在の料理講習室に代わる設備としては、炊き出し用に調理設備を設置し、様々な体験や利用ができるようにしたいと考えております。	無
3	3 ページ II-1 建設にあたっての基本方針	新規の防災センターにすべての支援物資が集結して、そこから各地の避難所に配布するようになって行くわけではないと思う。中越地震時には、総体や市役所等分散して支援物資センターがあったはず。そのような認識でよいのか。実際中越地震時には、道路の陥没やマンホールの突起などで、4輪車	新施設の支援物資集配所は、運動競技ができる広さを備えております。広域支援における救援物資の一時集積所として活用し、そこで物資の仕分けと車両への積み込みを行い、各避難所へ配送することを想定しております。	無

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え	修正
		での移動は厳しかったはず。また、厳冬期の積雪状態では、車での移動はさらに厳しいはず。そのような場合の物品移動については、どのように対応することを想定しているのかご教示していただきたい。	今後、厳冬期の陸上輸送が困難となる状況を想定し、有効な輸送方法について関係機関と検討してまいります。	
4	3 ページ II-1 建設にあたっての基本方針	中越地震の経験と教訓を次世代に継承するとあるが、本来は中越地震のような大規模災害に直面した時にどのような行動をするべきなのか、行政は何をし、市民は何をするべきなのか、大規模災害が発生してから順次環境や避難支援が変化していくことに対してどのように対応するべきなのか、小千谷市独自の災害時行動指針を明確化し、市民全体に知らしめることが必要なのではないか。過去何があったから気を付けましょうでは、何もならない。	大規模災害時の市民や地域、市の役割については、No.1に記載しましたので、ご覧ください。 市民に伝えなければならない事項は、災害の種類や地域の特性によって異なりますので、「小千谷市地域防災計画」に基づき、毎年行われる防災訓練を通じて、きめ細かく周知してまいります。	無
5	3 ページ II-1 建設にあたっての基本方針	自然エネルギー促進とあるが、具体的にはソーラーパネルを考えているのか。厳冬期の積雪や日照時間が少ない環境で冬季間ではほとんど役に立たない。クリーンエネルギーでかつ冬季間でも発電や暖房に利用できる水素エンジン等先進技術も検討されてはどうか。日本で初めての設備であれば、それこそ全国から見学の依頼があり、施設の利用率も上がると思われる。	ソーラーパネルや水素などをはじめとする自然エネルギーの活用については、今後の設計段階において検討してまいります。	無
6	5 ページ、6 ページ 2 当該施設に整備する機能と小千谷市地域防災計画	地域活性化のため、市民が防災公園と一体でイベントなどを開催し、市民が気軽に集える場として活用しますとあるが、現状の勤少ホームや体育館、白寿荘と同等な施設、設備、畳のある部屋も作るべき。また、公民館分館活動が盛んな東小千谷としては、現在分館の事務局機能も防災センター内に設置を継承していただきたい。	施設や設備の方向性は、No.2に記載しましたので、ご覧ください。 また、公民館分館の事務局機能の継承については、担当課において検討してまいりたいと考えております。	無
7	6 ページ そなえ館 (5) 災害時支援団体活動室兼おぢや震災ミュージアム「そなえ館」	楽集館からの移設で費用もかかり、市民に認知された場所であり移設しなくて良い。防災センター内に設置が理想ですが、その空間に現在ある勤少、公民館、白寿荘機能の充実にあてて欲しい。	No.1に記載しましたので、ご覧ください。 勤労青少年ホーム、公民館、白寿荘のこれまでと同等規模を移すのではなく、既存施設の利用状況や、維持管理コストなどを総合的に検討し、より良い施設になるように努めてまいります。	無
8	12 ページ IV-1 支援物資集配所	ゲートボール場は今までの経過より中越地震の少し後に片貝にあった冬季の練習場が耐震診断の結果使用が禁止となり、その後総体の弓道場を市より貸していただいたり旧小千谷病院の3階を借用しましたが、いずれも狭く、また、川口の有料練習場も遠方のためいずれもダメで、当市ゲートボール協会全員の念願する冬季練習場の確保です。 一面でよいので規定の面積床材はゲートボールに適したもの（土は可）でなければダメ。冬季で常設のコート（練習のためコートに毎回シートを敷く必要のないもの）で会場に行ったらすぐ練習ができる専用コートを希望するものです。屋	ゲートボールを練習する場所としては、コートが2面取れる面積を有する屋根付き屋外運動場を考えております。床材はショートパイル人工芝を想定していますが、他の競技との共用を考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。	無

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え	修正
		根付き屋外運動場でなく屋内ゲートボール場を希望します。 (2階3階でもOK) 本件は、市ゲートボール協会の安達会長との事前意思疎通を希望します。		
9	12 ページ IV-1 支援物資集配所	健康は人生最上の宝です。健康で長寿を保持するために適度なスポーツを楽しむことが不可欠と思うところで、市民に認識が浅い中で子供からお年寄りにいたるまで楽しめる最適なスポーツ・ゲートボールが愛好者達に大人気です。すでに地元の新聞等に掲載された片貝クラブが昨秋神奈川県で開催されたねりんピック全国大会に出場され、県内初の全国優勝を飾りました。屋外練習場はありますが、現在隣接の市や町に完備されている屋内練習場がないため、冬期間の練習に非常に不便を感じております。是非移転の好機にあたり屋内コート(1面で即使用可能)を設置していただきたく切望いたします。	No.8に記載しましたので、ご覧ください。	無
10	12 ページ IV-1 支援物資集配所	備蓄倉庫でダンボールベットとあるが、避難民全員に配給できる数を確保するのか。だいたい避難民1人に対してどの程度のスペースを考えているのか。できるだけ多くの人が一時的に避難することを考えた場合、足を伸ばして寝れる程度のスペースがあればよい(エコノミー症候群の回避)。畳1畳分くらいあればよい。ベットとなるとスペースが足りなくなるのではないか。	当市の避難所は、避難者一人当たりにつき、3㎡を目安に定員を定めておりますが、ダンボールベットは、体調不良の方や高齢者などに使用していただくことを想定しております。 そのため、参集してきた避難者の状態に応じて、ダンボールベットの使い分けをお願いしたいと考えております。	無
11	12 ページ IV-1 支援物資集配所	平常時の利用方法等で野球練習とありますが、硬式球を使用した練習は可能でしょうか。もし制限つき等の場合であれば安全面に配慮し壁や柱等に損傷がないよう、キャッチボールやバンド練習など許可いただきたいです。 地元の小千谷高校や小千谷西高校の野球部に所属する部員は年々減少傾向にあります。冬季の練習場所確保に苦慮する面が部員減少の一因でもあります。県立高校所属の部活動ではありますが、小千谷市在住の部員個人が自主練習としてでも使用できるよう配慮願いたいです。	硬式球の使用については、建物が損傷するなどの影響が大きいと予想されることから、今後の設計段階においてはそれらも考慮した上で、硬式球の使用も検討してまいります。	無
12	12 ページ IV-1 支援物資集配所	想定仕様に6m程度とあります。これは、フラットな天井となる想定でしょうか。 身近な屋根付き運動場に長岡市永田町の「ふそぎ公園屋根付き広場」があります。屋根はかまぼこ型のテント膜を利用し、自然光が取り込める仕様です。新支援物資集配所は小千谷ですので、積雪の影響などを考慮しなければなりません。が、そのような構造であれば、軒高は6m程度であっても最高高さは約10mとなり十分な高さが確保できます。 小千谷市で中核となる施設です。冬季での活動をあきらめ	運動場として使用する場合、テニスやフットサル、ゲートボールを想定しております。床材はショートパイル人工芝としていることから、野球の練習も高さが必要のないキャッチボールや、内野守備練習などは可能と考えられます。 屋根の形状等については、運動場として利用方法や当市の降雪状況を考慮した上で、安全な構造となるよう、今後の設計段階において検討してまいります。	無

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え	修正
		ていたあらゆるスポーツ愛好者が存分に活動できる施設の整備についてご検討くださいますようお願いいたします。		
13	13 ページ IV-1 災害時支援団体活動室	平時はそなえ館としてとあるが、現状あるそなえ館の機能を移設する必要があるとは思えない。現状のそなえ館そのままでもよいと考える。それに使う空間をもっと機能的に使用できるようにするべき。18年前の事ばかり振り返っても時代は動いており、当時と状況は違っている。過去を教訓にして、現状どうあるべきかを行動指針として明確にすることが必要であり、写真等を掲示してもそこから得るものがあるのか疑問。大変だったねと他人事に感じて終わりではないか。	No.1 に記載しましたので、ご覧ください。	無
14	13 ページ IV-1 避難所	勤労青少年ホームの軽運動場に相当する運動場を併設していただけるとありがたいです。(あまり大きなスペースの体育館を必要としないスポーツ団体がある。)	新施設において、勤労青少年ホームの軽運動場に相当するスペースとしては、多目的ホールをご利用いただけるものと考えております。	無
15	13 ページ IV-1 避難所	アリーナについて要望いたします。 テニスコートが入っておりません。冬場、夏場ともテニスコートとして利用する方たちがおりますので、計画に入れていただきたいと願っております。 現在の東小千谷体育センターは、エンドラインから入口、ステージまでが狭く、危険を感じることもありました。エンドラインから少なくとも5m以上は必要です。そして、センターストラップを固定する取り外しのきく器具を設置していただきたいと思っております。	避難所となる体育館(アリーナ)は、テニスコートとしての利用は想定しておりませんが、支援物資集配所となる屋根付き屋外運動場には、テニスコート1面を確保したいと考えております。 また、エンドライン外のスペースについては、各競技を行う利用者等の安全面を考慮した上で、面積を確保したいと考えおります。 競技を行うための器具等については、適正に競技が行えるよう配備する予定です。 12 ページ表中 支援物資集配所/屋根付き屋外運動場 750㎡程度 ⇒ 860㎡程度に修正します。	有
16	13 ページ IV-1 体育館	エアコンの設置を要望します。避難時には必要なもの。他市体育館はほとんどエアコンが設置してあります。小・中・高校生の大会ではエアコンが必要であり、市民が快適に利用できる状況が欲しいものです。	今後の設計段階において検討してまいります。	無
17	13 ページ IV-1 災害時支援団体活動室 ①60㎡以上 避難者用非常食調理のための炊事場設置	平常時の利用方法が①研修室となっておりますが、どのような炊事場を設置されるのでしょうか。また、一般利用は可能でしょうか。 平常時にも調理室として使用できるような設備(流し台・ステンレス調理台・ガスコンロ等)をお願いいたします。 当方では、現在、勤少ホームの調理実習室で月2回、配食サービス事業を実施しています。東小千谷地区の一人暮らし	料理講習室に代わる設備については、No.2 に記載しましたので、ご覧ください。 なお、調理設備については、福祉部門の担当課と相談し、設置を検討してまいります。平常時においては、これまでと同様な使い方は困難と思われるので、配食サービスを実施するにあたりましては、工夫してご利用いただきたいと考えております。	無

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え	修正
		<p>高齢者世帯等の見守りや安否確認を目的にしており、地元の方々がボランティアで弁当を作り、民生委員児童委員等地域の方から、対象世帯へお届けいただいております。平成6年4月の事業開始から30年近く、地域の中で見守り支援が継続されていますが、徒歩や自転車で気軽に通える勤少ホームが地元にあったからこそ、ボランティアの担い手も絶えることなく今につながっていると考えます。</p> <p>防災センターでも配食サービス事業を実施させていただきたく宜しくお願いいたします。</p>		
18	<p>13 ページ IV-1 災害時支援団体活動室 60㎡ 1室 避難者用非常食調理のための炊事場設置</p>	<p>現在、小千谷市社会福祉協議会の事業で月に2回東小千谷地区の配食サービスにボランティアで行っています。炊事場とはどのような設備が設置されるのでしょうか。勤少ホームがなくなり、調理できるような会場を考えたときに、町内の公会堂では十分な広さがない為、配食弁当作りは難しいとの意見もあります。</p> <p>また、配食弁当作りに来るボランティアもほとんどが徒歩や自転車の方です。今後もボランティア活動を継続していきたいと思っておりますので、勤少ホームのような調理設備の整った建物にしていきたいです。よろしくお願いたします。</p>	No.17 に記載しましたので、ご覧ください。	無
19	<p>13 ページ IV-1 災害時支援団体活動室</p>	<p>防災センターに勤少なみの調理室を作りたい。勤少にある調理室レベルは防災センターには作るつもりがない、避難者用非常食調理ができる程度との事、私は反対します。</p> <p>令和8年には団塊の人達は70代後半になります。自宅で暮らしてゆく事が望まれますが、栄養を取ること、運動をすることが必要と思っております。</p> <p>月に2回の配食ボランティアですが、栄養を考えたお弁当、いきいきサロンで集い、お弁当を食べる。大切だと思います。オーブンやレンジなど設備の面でも公会堂の調理室では十分な調理ができないと思うし、衛生面でも不安です。</p> <p>防災は大切です。ですが、老化は必ず教えられる状況できます。その準備も必要です。</p>	No.17 に記載しましたので、ご覧ください。	無
20	<p>13 ページ IV-1 要支援者避難所 市民が集う場所 そなえ館、研修室、</p>	<p>集約する勤少、公民館、白寿荘の目的別部屋数は確保されていますか。使用回数が少ないから他施設を借用とのことでしたが、今ある施設の重要性を全く認識せず、防災センターありきの施設になってしまいます。99.9%平時利用を優先したいものです。関係課と密な連絡をとりあっているのか疑問です。そなえ館を移設しなければ面積はとれるはずですが。</p>	No.2 に記載しましたので、ご覧ください。	無
21	<p>13 ページ IV-1 要支援者避難所 市民が集う場所 炊事場</p>	<p>炊事場の充実について、現在の勤少調理室は、講座・社協の配食サービス調理、公民館事業・デイホーム等々、とても重宝しています。ガスコンロ・調理場、冷蔵庫を今の規模で</p>	No.17 に記載しましたので、ご覧ください。	無

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え	修正
22	13 ページ IV-1 要支援者避難所 市民が集う場所について	残して欲しいです。 平成 27 年 10 月健康福祉課の要請で白寿荘を借りて分拠点「デイホーム白寿荘」をオープンしました。毎週金曜日 40 数名の会員より楽しい憩いの広場として活用しております。移転後も最低 50 名以上収容できるステージ付きで畳の間の設置を切望いたします。	No.2 に記載しましたので、ご覧ください。 ステージについては、災害時、平常時とも可変的にスペースを利用することから、組立式などの導入を検討してまいります。	無
23	13 ページ IV-1 災害時支援団体活動室	おぢや震災ミュージアムそなえ館、地震体験室、地震ざぶとん、説明エリア、展示エリアはいらぬ。	No.1 に記載しましたので、ご覧ください。	無
24	13 ページ IV-1 避難所：平常時体育館（アリーナ）について	東小千谷地区は、秋に「明るい東小千谷の集い」という芸能発表会を東小千谷体育センターのステージを使って、35 年も続いて行っています。 防災センターには、「ステージは作らない。使用頻度の低い事は別の会場で行う。」としていましたが、使用頻度を基準で考えて欲しいです。野外だけでなく、屋内でも移動式のステージ等、今ある機能を維持したものを建築して欲しいです。	No.22 に記載しましたので、ご覧ください。	無
25	13 ページ IV-1 災害時支援団体活動室	調理室も炊事場になるとのことですが、災害時こそ炊き出しができる調理室が必要であると考えます。	No.17 に記載しましたので、ご覧ください。	無
26	13 ページ	畳の部屋も無くなるとのことですが、クラブ活動を維持するために、着付、茶道など、ヨガも畳が必要です。災害時も床より畳のほうが良い事があります。置き畳等設置を希望します。	No.2 に記載しましたので、ご覧ください。	無
27	14 ページ IV-1 外構、駐車場	冬季の除雪は平面図の芝生広場まででしょうか。 移設後の土地はどうなる予定でしょうか。 現在の屋外ゲートボール場は残していただくか、売却、又、その他施設建設等で残せないときは防災公園内に移設いただき屋内外のゲートボール場で市民の健康寿命を少しでも伸ばせるようお願いものです。	ゲートボールコートについては、No.8 に記載しましたので、ご覧ください。 冬季の芝生広場の除雪については、除雪車が芝生を傷めるため、除雪は考えておりません。 移設後の土地については、今後、担当課で協議してまいります。	無
28	14 ページ IV-1 管理・共用	トイレについては、大規模地震時はほぼ停電、断水するため、水洗トイレが使用できなくなる可能性が高い、雨水貯蔵タンク等を重力式で流せるような施設にするべきと考える。	雨水貯蔵タンクの設置など、大規模災害時の衛生設備の確保・充実については、今後の設計段階において検討してまいります。	無
29	14 ページ 駐車場の除雪について	除雪車での除雪を考えているとの事でしたが、災害時、除雪車が防災センターまでたどり着けるのでしょうか。それとも、常時センターに除雪車が待機しているのでしょうか。冬期間の災害発生時について、もっと対応できるように考えていただきたいです。	駐車場などの広いエリアの除雪は、機械除雪で行うことを考えておりますが、除雪車が当施設に常駐することは想定しておりません。 しかし、本施設は避難所機能を兼ねますので、冬期間の除雪体制については、適切な対応方法を検討して	無

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え	修正
30	その他 IV-1 外構、駐車場	冬期間防災公園の駐車場及び搬入路は、除雪して確保したいとのことですが、地下水による消雪施設は設置しないいただきたいと思えます。 防災公園第1駐車場のすぐ脇の私道部に東小千谷1号線消雪組合の井戸ポンプ施設があり、地元の重要な生活道路（東小千谷1号線）消雪パイプを稼働しています。 直近で新たに消雪用井戸を掘削されれば、既存の消雪パイプの水量減少、枯渇等の影響が懸念されます。 よって、地下水による消雪施設以外の機械除雪等でご検討いただきますようお願いいたします。	まいます。 除雪については、No.29に記載しましたので、ご覧ください。 なお、消雪用井戸の設置を検討する際は、周辺の井戸を確認し、影響の有無についても調査した上で、地元消雪組合に相談したいと考えております。	無
31	16 ページ その他	小千谷市全体における大規模災害時の対応について見えてこない。防災公園につくる施設が市全体における防災施設の何を担ってゆくのかは、全体が見えてこないと適切な話ができないと考える。	No.1に記載しましたので、ご覧ください。	無
32	序・全体について	現有設備の体育館・勤少ホーム・白寿荘の三施設の移動面積から移転先は防災施設が主体のため、相当コンパクトになるのはしかたない事は承知の上で、基本的に1・体育館と2・勤少ホームの1階の調理施設と2階の板張りの軽運動場、3・白寿荘の畳の部屋は舞台付を希望します。	No.2、No.22に記載しましたので、ご覧ください。	無
33	その他	中越地震を経験したのちの小千谷市全体の防災活動が市民全体に周知されているようにも思えないことから、そこをもっと充実することも並行に進めていただきたい。中越地震時、東小千谷中学校に避難していたが、体育館は窓ガラスが割れたため、とても体育館に避難できる状態ではなかった。構造的にも頑丈な学校の校舎や体育館については、降雪時期には絶対に使用できるようにしておかなければならないと考える。そのためにはガラスにシートを張るなど、現状からすぐできることも実施していただきたい。	市民全体への周知や防災活動の充実については、No.1に記載しましたので、ご覧ください。 なお、いただいたご意見については、今後の設計段階において検討してまいります。	無
34	その他	各町内にある公会堂等も避難所にして施設の分散化を推奨する動きがあるが、小千谷市として避難所における統一した指針がないように思われる。町内まかせではなく、どのような機能を持たせるのか、準備していくのかについて、明確化を望む。付け焼刃的な話をされても、防災活動の中のどの位置づけなのか全く不明確。	No.1、No.4に記載しましたので、ご覧ください。	無
35	その他	大規模災害発生後の避難生活において、避難所に知らない顔が沢山いることが結構なストレスになる。平時の様々なイベントで見かけたことがあるというだけで安心できるもの。普段からそのような環境を作ることが、防災センターの重要な機能として大切にしていきたい。	当施設の機能については、No.1に記載しましたので、ご覧ください。 平時においても様々なイベント等において活用できるよう、いただいたご意見を参考にしてまいります。	無

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え	修正
36	その他	建築物の図面や仕上がりイメージ等が無いので何ともイメージしづらいのですが、国道 351 号の除雪の際の、堆雪場所に影響が無いようにしてください。	国道 351 号の除雪を担当しております新潟県に対しては、堆雪場等除雪計画について、協議してまいります。	無
37	その他	建物の立体図を掲示いただくと理解しやすいです。	市民の皆様にお知らせできるものが完成しましたら、随時公表してまいります。	無
38	その他	駐車場が少なすぎる。車で移動する人が非常に多くなることを想定しておくべき。	ご意見を踏まえ、限られた敷地内での有効な駐車スペースの確保を計画してまいります。	無
39	その他	ドクターヘリを想定したヘリポートは作るのか。冬季のヘリポートはどうなるのか。自衛隊の大きな輸送ヘリが離着陸できるように考えておくべき。	現在、防災公園の芝生広場をドクターヘリコプター及び防災ヘリコプターの離着陸場として新潟県へ登録しておりますが、降雪時においては、ヘリコプターの運航ができませんので、防災公園への離着陸は想定しておりません。 また、当該公園への自衛隊の大型輸送ヘリコプターの離着陸は想定しておらず、離着陸場としては高梨地内を想定しております。 物資が輸送された際は、一時集積所である当施設に輸送し、仕分け後、避難所へ配送することを考えております。	無
40	その他	豪雪時の移動手段としてのスノーモービルの常設と運転免許取得機能の確保等平時から使用できる人を確保することが必要と考える。	豪雪時の移動手段として、スノーモービルを常設することは考えておりませんが、適切な移動手段の確保については、関係機関と検討してまいります。	無
41	その他	構造形式にて、防災公園内におけるかまど等で火が使える施設の増設や雨水等のろ過機能設備の設置等施設全体を使った災害時の避難場所として充実するように検討願いたい。	No.2、No.28 に記載しましたので、ご覧ください。	無
42	その他	手ぶらで町中キャンプ 新しい建物の中に、宿泊施設を作り、家族用、団体用と個室を作り、IH のキッチン、シャワー室、トイレを設置する といいと思います。新しい建物の中に、テント、バーベキューの道具を揃えて置き、普段は有料で貸し出し、有事の時は、無料で貸し出せばすぐに自分達で生活できると思います。	キャンプなどの屋外での宿泊経験も、災害時の制限された生活を乗り越える手助けとなると考え、「そなえ館」で防災キャンプを実施しております。新施設の建設後は「そなえ館」の防災プログラムの事業候補として検討してまいります。	無
43	その他	飲用可能な水質の井戸を掘る。 敷地の隅にたき火ができるスペースを確保	周辺の住宅や環境等への影響を考慮しながら、検討してまいります。	無
44	その他	越後三山、山本山、信濃川、山寺山など見れる展望室が欲	いただいたご意見については、今後の設計段階にお	無

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する市の考え	修正
		<p>しい。 水分補給ができる自販機スペース、休憩所が欲しい。 読書ができる部屋が欲しい。 WiFi などネット環境を整えて欲しい、スペースが欲しい。 しい。 錦鯉が見れる池があると良い。(小さい池で良い)</p>	<p>いて検討してまいります。</p>	